

一 次の文章を読んで、あととの間に答へなさい。

イメージではない「事物」「一つしかないもの」とは、人間にとつてどういう存在なのでしょうか。

や哲學的になりますが、情報、観念、イメージといった頭脳の産物は、すべて「裏側を持たない存在」であり、「滲みや搖らぎをできるだけ排除した存在」だと定義することができます。テレビ画面に映った一つの風景のイメージには、どこをどう探しても裏側というものはありません。一つのアスペクト視点から眺められた唯一の見かけが、映像というもののすべてです。また情報、あるいはイメージは、それを提示した人の意思にしたがってわれわれの印象を形成します。それをつくった人の意志を裏切ったり、意図からはずみ出したりする要素を、可能な限り抑制したものがイメージなのです。

それにたいして、私たちの身边にある「もの」には必ず裏側があり、陰影と滲みが含まれています。一つの存在でありながら、それを見る視点を変えることによって、自由に、多彩な、ほとんど無限に近いイメージを取り出すことができます。さらに、現実の事物は、それをつくった人の意思に反して、あるいはそれを超えて、いわばイメージの余白とか周縁といったものを差し出します。

D 木屑の塊です。
 (2) 合成樹脂でつくられたテーブルは、限りなく一つのイメージ、一つの印象を限定してわれわれに示されます。表面には木目が見えても、裏側は木屑の塊です。
 (3) 自然な木材でつくられたテーブルは、作者の思いがけない傷や汚れを帯びているだけではなくて、風合とか肌理などと呼ばれる、名状しがたい要素を含んでいます。合成樹脂のテーブルは、分析していくべき木屑の塊です。そこには、つくった人の意識、あるいはそのときどきの見る人の意識を超えた、不思議な雰囲気が備わっているものです。情報としてつくられたイメージは、それがどんなに精巧につくられ、バーチャル・リアリティ(仮想現実)と呼ばれるようになってしまっても、なおそれを提示した人の意図を忠実に表現しています。いいかえれば、受け取る側は、それを提示した人の意図に従い、その通りに「もの」を見ざるを得ないということです。たとえばここに、ある一定の角度からカメラを構え、一定のフレームの中に「もの」をとらえた写真があるとします。すると、この写真の、その特定の視線の角度は、見る人を強制し、作者が意図した明確な一点に関心を集中させます。

こうした強制は、もちろん文明の重要な機能であって、情報の限定、分析的な正確さということなしに、人間の精神は成立しません。しかし一方で、人間は本来的に、自分が自由に読み取ることのできる事物、あるいは表現者の意図を超えるような陰影、ニュアンスというものを味わいたいという願いを持っています。限定された、あるいは強制された情報だけでは、心が不安になり、どこか満ち足りないものを感じるものです。その意味では、情報化とは、人間の本來の願望に背き、情報の受け手の自由を制約するものだといえるでしょう。事物のイメージ化、すなわち情報化には、そういう侧面があることを、われわれは心して見抜いておく必要があるわけです。

(山崎正和『二十世紀の遠景』による)

1 本文中のA～Dの一観念、イメージなどの「頭脳の産物」とあるが、次のうち、情報、観念、イメージなどの合ふものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で開みなさい。

A 一つのアスペクトから眺められた唯一の見かけであるテレビ画面の映像は、一つの存在でありながら、それを見る視点を変えることで、自由で多様な、無限に近いイメージを取り出すことができるものである。

B 情報あるいはイメージは、裏側を持たず滲みや搖らぎができるだけ排除された存在だと定義することができ、提示した人の意思に反したりそれを超えたりする余白や周縁は可能な限り抑制されている。

C 情報として精巧につくられ、バーチャル・リアリティと呼ばれるようになったイメージには、提示した人の意図が忠実に表現されており、作者や受け手の意識を超えた名状しがたい不思議な雰囲気が備わっている。

D 一定の角度から一定のフレームの中に「もの」をとらえた写真は、見る人を強制して明確な一点に関心を集中させることによって、人間の精神が情報の限定、分析的な正確さなしに成立しないということを示している。

潮出版社刊

二 次の文章を読んで、あととの間に答へなさい。

秀逸の発句といへるは、打ちきこゆる所、何とらへておもしろき事も見えず、只詞すなをにたけ高くして、其の意味口をして述ぶる事かたきをこそいひ侍れ。是は常に詞を巧みよせたる句のみ面白き事に覚え

てもあそぶ人の耳には、聊かかよふべからず。世に周ねく人のゆるしたる作者の秀逸と名にたてる発句を聞きて、その底の聞こえざる輩は、我が心にうたがひをおこして、修し入りて見侍らば、自然とおもしろき意味をもしる事あらん。その分上に至らば、自句に秀逸をまうけぬべし。

(注) 発句 = ここでは、五・七・五の十七音からなる句のこと。

『獨』と
『鬼貫の『獨』』

講談社 一九八一年八月

3 次のうち、本文中の (2)、(3) に入れることばの組み合わせとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で開みなさい。

A (2) たとえば (3) つまり
 B (2) たとえば (3) しかし
 C (2) したがって (3) つまり
 D (2) しかし (3) しかし

4 本文中で筆者は、情報化とはどのようなものだといえると述べているか。本文中のことばを使って七十五字以上、九十字以内で書きなさい。

二 次の文章を読んで、あととの間に答へなさい。

秀逸の発句といへるは、興じ楽しむ」という意味を表すことばとして最も適していることばを、本文中から五字で抜き出しなさい。

3 (2) 本文において「興じ楽しむ」とあるが、秀逸の句を自作することについて、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。(a) に入れるのに最も適していることばをあとから一つ選び、記号を○で開みなさい。また、(b) に入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで二十字以上、三十五字以内で書きなさい。

A 世の中で (a) の、秀逸であると言われている発句を聞いて、その奥深いところにあるものを理解できない者は、自分の (b) ようになれば、秀逸の句を自作することができる。

B 一部の人から信頼されている作者
 C 知り合いの人から許可を得た作者
 D 周囲の人々とうちとけている作者
 E 広く人々から認められている作者

三 次の問いに答えなさい。

- 〔3〕

3 で筆者は、芸術家がどのようにすることと、感覚的なものと永遠的なものと
が一致すると説明しているか。その内容についてまとめた次の文の
□に入る内容を、本文中のことばを使って四十五字以上、五十五字以
内で書きなさい。

4 芸術家が素材との□ことで、感覚的なものと永遠的なもの
とが一致する。

ア 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。
最も適しているものを一つ選び、記号○で囲みなさい。

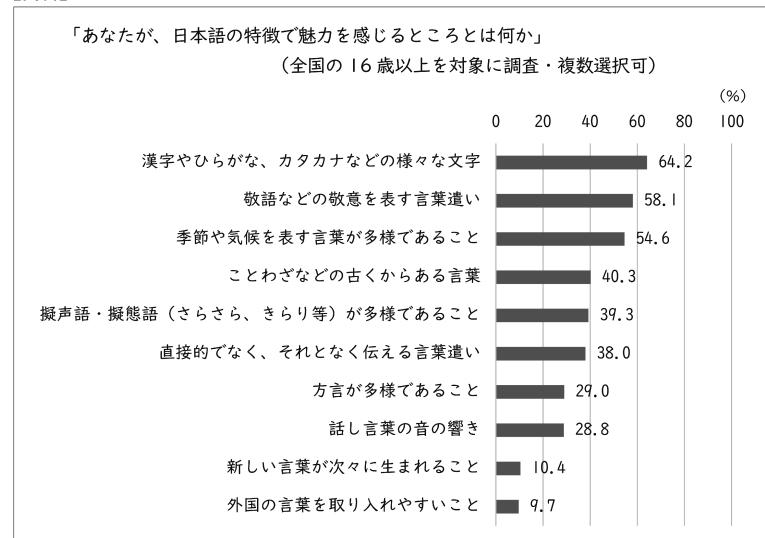
イ われわれが本当に生きていると思うことができるのは、何等かの意味で
永遠的なものに支えられ結びついている時であり、永遠的なものは必ず芸
術によってあらわれる。

ウ 流行製造者が得意とするような根底から新しいものを作り出す行為
とは違ひ、作られたものが滅び流行が古くなる中で、永遠的なものを発見
することを創造という。

エ 哲学者が頭の中で考へてから文章を書くことと同じように、芸術家は眼
に見えるものの背後に眼に見えないものを見出してからそれを眼に見え
る形にもたらしている。

エ 芸術は何よりも先ず、色であり、形であり、音であることによつて永遠
 자체であり、芸術そのものによつて永遠的なものをあらわしているとい
うものではない。

【資料】



(令和5年度「国語に関する世論調査」(文化庁)により作成)

五 次の【資料】は「あなたが『日本語の特徴で魅了を慰むところとは何か』という質問に対する回答結果を示したもので。【資料】からわかるごとにふれながら、「日本語の特徴」についてのあなたの考え方を、別の原稿用紙に三百字以内で書きなさい。

時点
す。

四 次の文章を読んで、
あとで、どの問いに答えたかし

- (1) 次の(1)～(3)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(4)～(6)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。
ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

(1) 車掌がアナウンスをする。
(2) 物流が渦る。
(3) 換気のためにマドを開ける。

(4) 地元の企業にシユウショクする。
(5) 地図のシユクシャクを確認する。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

| | | |
|----------|---|----|
| 受験 番号 | 番 | 得点 |
|----------|---|----|

〈問題五を除く〉

| | | 四 | | | |
|---|------|---|----------|----|---|
| 4 | | 3 | | 2 | 1 |
| ア | | | | b | a |
| イ | 45 | | | | |
| ウ | 55 | | | | |
| エ | ことで、 | | 芸術家が素材との | 13 | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----|--|--|--|-----|--|-----|-----|-----|----------------------------|
| /24 | [4] | | | | [8] | | [4] | [4] | [4] | 採 点 者 記 入 欄 |
|-----|-----|--|--|--|-----|--|-----|-----|-----|----------------------------|

| — | | | | |
|----|----|---|---|---|
| 4 | | 3 | 2 | 1 |
| 90 | | ア | ア | A |
| | 75 | イ | イ | B |
| | | ウ | ウ | C |
| | | エ | エ | D |

| 三 | | | | | | |
|------------------|-------------|-----|--------|-------------|-----|-----|
| 2 | 1 | | | | | |
| 教 フ ル ニ | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| 人 ニ | | | | | | |
| 以 チ ス ル | | | | | | |
| 善 ヲ | シ ュ ク | | | シ ュ ウ | | |
| 、 | | | | シ ョ ク | | |
| 謂 フ | | | | | | |
| 之 ヲ | シ ャ ク | | マ ド | | | |
| 忠 ト | | | | る | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 1 | 採点者記入欄 |
|----------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|

採点者
記入欄

2

- ・原稿用紙の正しい使い方にしたがつて書くこと。
 - ・題名や名前は書かないで、本文から書き始めること。

番号

得点  / 20